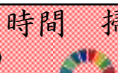




『浜玉中三訓』
《学校教育目標》



時間 掃除 あいさつ 《時を守り 場を清め 礼をつくす》
『持続可能な社会の創り手となる生徒の育成』
《めざす生徒像》 豊かな心で、未来を切り拓く生徒

◆ 人権フォーラムで浜玉中生が活躍しました ◆

過日（1月12日）、唐津市高齢者ふれあい会館ふれホールにて、唐津市人権フォーラム～中学生の人権のひろば～が開催され、全国中学生人権作文コンテストの市内優秀作品の朗読、人権講演会が行われました。

人権作文の朗読では、奨励賞に入賞した本校2年生男子（H.Sさん）の作文「聞き上手が世界平和を作る」を本人が朗読しました。また、他校生徒の作文「旅行中の経験から」を本校2年生女子（H.Nさん）が代理で朗読しました。そして、本校2年生男子（S.SさんとR.Mさん）が、総合司会を務めました。

講演会では、KBC九州朝日放送「アサデス。」のキャスターである徳永玲子さんが、ご自身の経験をお話しされ、最後に「いのちをいただく」という絵本の朗読をされました。

「いのちをいただく みいちゃんがお肉になる日」（講談社の創作絵本）

食肉センターに勤めている坂本さんは、牛の命を解いて（牛を解体して）、お肉にする仕事についています。牛と目が合うたびに仕事がいやになり、「いつかやめよう」と考えていました。

ある日、坂本さんの息子であるしのぶ君が小学校の参観で、お父さんの職業を発表する授業の時に「普通のお肉屋さんをしている」と答えます。それを聞いて、お父さんはがっかりします。

学校の先生が授業のあと、なぜ普通のお肉屋さんと言ったのか？お父さんが仕事をしなければみんなはお肉が食べられないからすごい仕事なんだよ、と教えると学校から帰ってしのぶ君はお父さんに言うと、お父さんはうれしくなりもう少し仕事を続けようと思います…



◆ おうちのキケン ◆

本日（1月17日）は、ちょうど30年前（1995年）に阪神・淡路大震災が起こった日。午前5時46分に兵庫県南部でマグニチュード7.3の地震が発生し、京阪神に大きな被害が出ました。

折しも1月13日の21時頃、宮崎県沖でマグニチュード6.9の地震が発生し、唐津市も震度2を記録する揺れがありました。改めて、地震の影響が広範囲に及ぶことを実感した次第です。

過日（10月13日）、全校集会にて「おうちのキケン」と題して防災の話をしていました。家の中にも危険箇所があるので、地震が起こった際に備えて点検しておいてほしいと伝えていました。

家の中での危険は、ロッカーやタンス、冷蔵庫、棚のモノなど、家具の転倒や落下が3～5割を占めるとのこと。加えて、窓の破損による怪我、暖房器具による火災など、考えればきりがありません。地震だけでなく大雨や風雪など、我々の防災意識をもっと高めていきたいものです。

＋ 今日帰ったら、何をする？

- 倒れたらキケンを見つける
- 落ちたらキケンを見つける
- 割れたらキケンを見つける
- 動いたらキケンを見つける



■ 昨年末、徳須恵八坂神社に飾る「注連縄」づくりがあった ■ まず、保管していた稲わらを「ミノル式イネコキ」という足踏み式脱穀機で整える ■ 次に、大・中・小と稲わらの束をつくる ■ そして、稲わらを束ねて大きな注連縄を編んでいく ■ 今回初めて編む作業に携わり、伝承の技を教わった ■ 飾られた注連縄を見ると嬉しい（イタル）